

SSSのオリジナルサービス



e-DellEMC 延命DellEMC

メーカー保守終了後も現行システムを継続運用するのでDellEMCストレージを延命させたい。システムのリプレイスは相当な投資となる。現行システムを延命させるために、DellEMCの保守サービスができるところを探している。クラウドシステムへの完全移行までのこの先1年間現行システムを延命させる、DellEMCの保守サービスができるところを探している。

SSSの「延命DellEMC」が全て解決いたします。



【概要】

- 保守サービス契約後SSSにて保守パーツを準備し、SSSのエンジニアがDellEMCハードウェアの保守を実施します。
- EOSL後の保守部品でも国内外の調達先から入手可能です。
- お客様のシステムご使用期間にあわせて保守部品を確保します。
- 年間保守サービスとスポット保守サービスの2つの保守サービスがあります。
- 年間保守サービスの契約をいただくことで、専任担当エンジニアが決まります。
- 年1回の定期点検を実施します。
- ご使用のシステム構成を調査させていただき事前に必要な部品を準備しますので迅速な対応が可能です。
- 年間契約ですので予算計上していただいた金額以上のものは発生しません。

【延命DellEMC保守サービスとは】

これから EOSL(End Of Service Life) を迎える DellEMCミッドレンジストレージ CXシリーズ、AXシリーズ のハードウェア保守が可能です。
また同時に Dell PowerEdge サーバの保守サービスも対応可能です。
サービスレベル合意書に基づきオンサイトサポートを提供いたします。

【EOSL後に発生する問題点】

メーカーは3年～5年で製品販売を終了しそれから 1年～2年後には保守サービスも終了する。これが標準的な「システム・ライフサイクル」です。
このライフサイクルとは 新製品の販売を促進させる為のものであり、メーカーは顧客が 10年 20年とシステムを使い続けることを望んでいません。
国内では平均7年で保守サービスを終了しています。保守サービスを継続するためには、保守用部品を保持しなければなりませんし、そのためのエンジニアも確保しなければなりません。メーカーは新製品に移行するための営業戦略として保守サービス終了(EOSL)のアナウンスをします。これらはすべて「メーカーの都合」です。
システムを更に継続して運用するためには、

- * 故障が発生した時に修理する部品を用意できる。
- * 修理するための技術的な知識を有するエンジニアがいる。

この二つの条件を備えた保守サービス会社を見つけなければなりません。
シェアード・ソリューション・サービス は、この条件に合致した会社です。



【対象機種】

DellEMC CX4 シリーズ

CX4-960
CX4-480
CX4-240
CX4-120
CX3-20
Cx3-10C

DellEMC AX シリーズ

AX150
AX150i
AX100
AX100i

PowerEdgeサーバーシリーズ

PowerEdge 2000シリーズ
PowerEdge 4000シリーズ
PowerEdge 6000シリーズ
PowerEdge 8000シリーズ
PowerEdge Rシリーズ

*機種名記載ない場合はお問い合わせください。
保守サービス可能な場合がございます。



株式会社シェアード・ソリューション・サービス
〒101-0047
東京都千代田区内神田1-11-10 コハラビル2F

TEL: 03-5259-6065 FAX: 03-5259-6066
E-mail: sales@3scom.jp
URL: <http://3scom.jp>